

令和 6 年度 日本大学 学生 FD CHAmmiT

第 6 回 スタッフミーティング報告書

日本大学 学生 FD CHAmmiT スタッフ一同



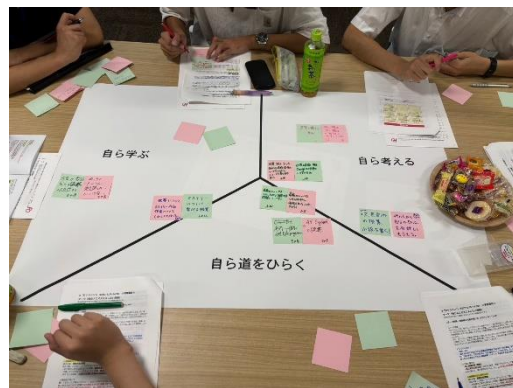
自主創造
日本大学

9月14日に日本大学本部で学生FD CHAmmit 第6回スタッフミーティングが行われました。今回のミーティングでは第5回のミーティングをもとに修正されたファシリテーションマニュアル、セッションの確認と当日行うセッション1～3を通して行いファシリテーションマニュアルに関する質疑応答を行いました。第5回からのファシリテーションマニュアルの変更点はアイスブレイクのテーマを「自分の学部にはしかない特徴は何ですか?」、「あなたが大学でやりたいこと・達成したいこと・習得したいことは何ですか?」の2つから「無人島に一つだけ持っていけるとしたら?」、「もし一億円あったら」への変更、セッション1において黄色の付箋に意見共有を通して所属する学部提案できる授業を記載しセッション3まで各自で持っているように変更、セッション2において意見出しの際「自主創造」を支える3つの構成要素とは関連させずに行う形式への変更、セッション3で意見を分類するときに使用する模造紙と学部提案書に「自主創造」を支える3つの構成要素のほかにその他の枠を設けるように変更されました。そのほかにも議論を円滑に進めるための細かい変更や追記がありました。

○ セッション1 テーマ:「他の人にオススメしたい授業」

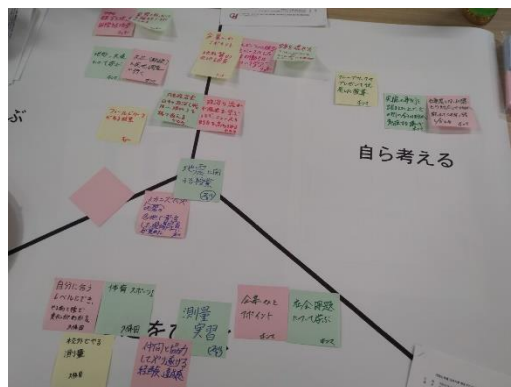
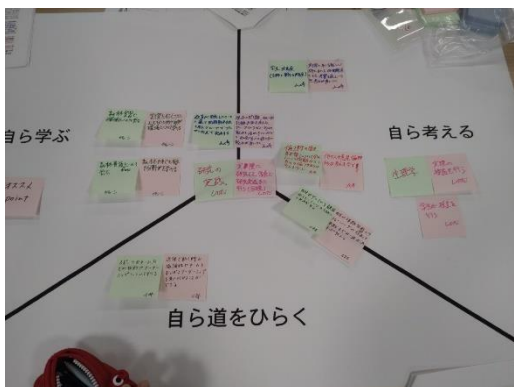
このセッションでは他学部の学生と自分が面白い、楽しいと思った授業についての意見を出すだけでなく、日本大学の教育理念である「自主創造」を支える3つの構成要素「自ら学ぶ」、「自ら考える」、「自ら道をひらく」のどれに当てはまるのかを考えながら話し合いを行いました。緑色の付箋に授業の概要、赤色の付箋にオススメPOINTを記載し意見共有を行いました。その後

意見共有で他学部の人から聞いた授業をもとに各自で所属する学部にて提案できる授業を黄色の付箋に記載しました。



○ セッション2 テーマ：「自分が受けた授業で見つけた改善すべき点」

このセッションでは、学部ごとのメンバーで行いました。自分から見た良くないところと、どうやって改善すれば良いのかの改善案を考え、意見を共有しました。このセッションで話した内容は、セッション3の学部提案書作成に繋がりました。青い付箋は「良くない所」、赤の付箋は「改善案」としてグループメンバーに共有しました。



○ セッション 3 テーマ：「私たちが未来に活かすためには」

このセッションでは、これまでに話した内容をもとに、学部ごとに学部提案書に提案したい意見をまとめました。全学部に関わる項目には大学への提案を書きました。セッション 1 で他学部の学生に共有した黄色い付箋が自主創造を支える 3 つの構成要素のうちどの項目に当てはまるかを分類し、セッション 2 で出た改善案(赤色の付箋)を分類しました。最後に学部提案書を作成しました。ここでは、提案書を書く人と発表する人を決めました。また、学部提案書に改善案を書く際には理由も記載しました。

以上のグループワーク後にもう一度ファシリテーションマニュアルに対する確認と質疑応答を行いました。その際にセッション 1 で作成した黄色い付箋をセッション 3 で分類分けするときにスムーズに行うためにセッション 1 の段階で黄色い付箋が自主創造を支える 3 つの構成要素のどれに当てはまるかメモしておくように参加者へ呼びかける変更が追加されました。また、学部提案書を作成する際の注意点として教職員の石川先生より「理由を詳しく書く。この議論に参加していない人にもなぜこう書いたのかをわからせるほどの詳しさであるべき」というお言葉をいただきました。学生 FD CHAmmit まで残り少ない期間ですがオンライン研修などを通して各々ファシリテーターの能力を鍛え、本番をよりよいものにしていきたいと思います。

○ 集合写真

